

集中で学力アップ！まだまだ上がる君の成績

茗溪塾塾長 宇野 雅春

10月の台風に振り回されているうちに11月がやってきました。被災した人たちの中にも受験生はいたと思います。大きな出来事でチャンスを逸してしまう事もある中で、それでも受験に関しては特別な配慮などはなく、そういうマイナスなこともすべて自分の責任でクリアーしていかなくてはならないことになります。

生徒にとっては、今までの自分からしっかり考えて行動する事が要求される自立体験として「受験」はあります。あの時〇〇があってそのせいで受験が失敗したという言い訳は、どこにも通用しないということです。まして部活が大変だったから勉強ができなかったという言い訳が通用する訳もありません。自分が工夫し努力して問題を乗り越えていかなくてはならないのです。初めて経験するシビアな現実。それが生徒にとっての受験です。

何かを始めようとするとき「もう手遅れ！もう遅い」などというのは、いかにも正論ですが、間違っています。時間が過ぎればもっと切羽詰まってくるわけですから、思い立った時にすぐ始めることが大切なことだと思うのです。大きく変化するこの時代の中で考えれば、数年先に選択を迫られる自分の職業には、今までと異なる高い能力が要求されてくるはずです。気がついたときはすでに遅いという事も考えられます。

受験勉強は基礎学力という事なのでその習熟度合いは必ず将来に関わってくるはずです。

では何をすればよいか？あげてみると、12月いっぱいまで不得意にメスをいれること。そして、作業勉強の克服（勉強しているけれど成績が上がらない生徒はほとんどがこれです。）これの解決はアウトプットを先行させるという事です。まずはテストをしてみて、わかっていないものをチェックしそこだけ重点的にインプットするという事です。作業勉強の多い生徒は、頭を使って考えること以外の「作業」を増やす傾向があります。切り取ってはったり、色を付けてきれいにまとめたりが勉強の中心で、考えて解いたり、覚えたりを面倒に思っています。勉強の中に「無駄な部分」を持たないことが大切です。

本当に「勉強している」と自分が確信できる勉強をするという事です。わからなかったことがはっきりわかったり、解けなかった問題が、解けるようになったり、知らなかったことがはっきりしたりそれが前進する勉強です。

ここから、いろいろな意味で学習時間が増やせるようになります。どんなに忙しくても勉強期間を確保する努力をすること。言い訳をしないこと。勉強できる場所を見つけること。

本気度が増せば成績は上がります。「もう遅い！」は考えるだけ時間の無駄です。

それをやることで勉強が楽しくなってくるはずです。少しずつでいいのです。「わかった」を増やす勉強をして自分のレベルを上げていきましょう。最後まであきらめないうで、努力を続けましょう。ただ時間を潰す勉強ではなく、「〇〇が理解できた！」「〇〇が覚えられた！」という勉強になれば、大きく成績は動くはずです。